

Topics 1

まだまだ暑さが続きます。そんな中、今度は庭づくりです。

清航館の庭に、震災前まで屋根瓦として使用していた【江戸時代の瓦】を敷き詰めました。石を積み上げ、木を植え、どんな庭になるか夢が膨らみます。少しずつ緩やかに作業を進めています。出来上がりをお楽しみに。



コロナ禍で大勢が集まるイベントができない時期なので清航館では庭の整備を始めました。敷地の奥にはいつか庭づくりで使おうと集めて置いた材料が無造作に積み上げられていて、非常に見苦しい状況でした。これがようやく片付きます。震災で撤去した古い屋根瓦は庭に敷きならべようと残してありましたし、鬼瓦などの特殊な形状の瓦は花壇に使ったら面白そうです。かつて港の整備に使われたと言われる石は駐車場と庭の境に積み上げて縁石にし、

今年の小学生は新型コロナの影響で休校期間があったため短い夏休みですが、子どもたちを待っていたように8月は夏らしい天気はずっと続きました。我が家では夏の家族旅行は控えましたが、その代わり「海でカヤック遊び」「山で自転車遊び」と親子で市内を駆け回り、私も真っ黒に日焼けしました。

同じ石だけど平板のものは玄関までの飛び石にします。滑車が壊れてしまったこののぼりの竿はこのタイミングで撤去します。豊田設計との境界部分には板塀を設けることにしよう。庭には緑も必要です。イワダレソウを敷き詰め、シンボルツリーにはシヤラの木が素敵ですね。そうそう、衝動買いした「カヤック」を収納するための物置小屋建設の依頼も家内からありました。

夢はどんどん膨らみますが、予算は限られています。重たい石の移動や据え付け、駐車場の舗装はプロに依頼しましたが、それ以外の工事は例によって予算の都合により自分で行うことになりました。清航館の修復が終わった時から「次は外構工事です」と言い続けていますので、既に構想に6年の歳月を費やしたプロジェクトですが、この調子だと制作には1年以上かかるかも知れません。

8月上旬にプロに依頼する部分の工事が無事に終了しています。今月からこつこつとDIY作業を始めます。毎度のことながら遅々として進まない工事となりますが、たかさんの方が関わった素敵な庭に仕上げていく予定です。お楽しみに。

(文：豊田善幸、写真：豊田千晴)



月刊 清航館通信

第76号

2020年9月1日 発行
【発行】
中之作プロジェクト

Topics 3

9月のイベントピックアップ



いわき暮らしの伝承郷の館長さんを講師にお招きして、中之作・折戸地区を地域の歴史を学ぶ『中之作まちあるき』イベントを開催します。地域の新たな魅力を再発見するかもしれません。一緒にまちあるきしましょう。

- 日時：9月27日 10時～12時
- 集合場所：清航館 9時45分
- 内容：地域の歴史と共に学ぶ『中之作まちあるき』
- 参加費：無料
- 準備するもの：マスク、歩きやすい恰好、熱中症対策（飲み物など）
- ◆ 要予約です。体調不良の方のご参加はご遠慮ください。

お問合せ： 0246-55-8177 (中之作プロジェクト)

Topics 2

清航館日誌・葉月



夏休みを港町で楽しむ

今年の夏はコロナの影響もあり、イベントも開催されず子供たちにとってはちょっと寂しい夏休み。少しでも楽しんでもらおうと、8月8日、いわき市内の小学生15人を招待し清航館でお泊り会をしてみました。

昼は永崎海岸まで歩いて行き、砂浜遊び。夜は、地元の方の協力でカツオの薫焼きを見て食べて楽しみました。今年はカツオ漁も不漁との事。残念ながら地元で揚がったカツオでは無いですが、脂がのって美味しいカツオのたたきはあつという間に食べつくされました。楽しい思い出、作れたかな？

(文、写真：豊田千晴)



